

質問と回答

1) 再編検討対象外の公共施設の活用や新たな土地の購入について

- シルバーピア石山だけでは機能集約するのに狭いので、市営住宅の空いている棟の敷地を活用してはどうか。
- 今回の再編対象施設以外の石山・東石山地域の公共施設の事業計画を踏まえた配置計画となっているかを評価軸や評価項目に入れた方がわかりやすい。例えば、学校の空き教室や駐車場の活用などの学校活用の可能性も視点に入れてはどうか。
- コストを考えて公有地を対象とした配置案になっているのだろうが、これまでのワークショップで出されていた新しく土地を購入して施設を建てる案も比較検討はしてほしい。
- コスト削減を重視すると市有地を活用した案に絞られてしまう。これまでのワークショップで、新しく土地を購入してはどうかというアイデアも出たのに反映されていない。

【回答】

現状の再編対象施設以外においても、利活用の可能性がある施設や私有地を活用した再編の方向性を検討してはどうか、とのご提案であると受け止めています。

市営住宅については現状、一部の棟の部屋で空きがありますが、現在居住されている方への影響等を考え、空き部屋の活用は難しいものと判断しました。また、今後入居者の減少により棟が空くなどした場合に、必要に応じて効率的な活用を検討します。

学校の活用についても、空き教室が一部あるものの、現状では活用が難しく、また教育環境を維持しながら活用することについて配慮が必要となることから、今時点では検討の対象としていません。

新しい土地の購入については、持続可能な財産経営の観点から、今ある市有地を活用することが妥当と考えております。また、石山・東石山地域の中心と考えられる地域では住宅が密集しており出張所を移転できるような広大な土地の購入が難しいことや、地権者の売却意思が必要なことから、再配置案では土地の購入について含めないこととしています。

2) 民間複合施設について

- 民間活用を考えていく必要があると思うので、その可能性があるかも評価してほしい。
- 現状維持案以外は、越後石山駅の近くに新施設ができるので、人が集まりやすく活気づくと思う。コンビニやカフェなども併設して、買い物やゆっくり過ごすことができる場にしてほしい。
- 現状では駅周辺にコンビニがないが、新施設に併設できればお弁当が買えたりして、学生や親にとって利便性が高くなる。

【回答】

民間施設との複合化については、今後策定する地域別実行計画を実行していく中で、必要に応じて、民間事業者からの意見を聴く等、民間活力導入への可能性を検証したうえで検討します。

3) 保健福祉センターについて

- 保健福祉センターが移転しても、センターで行っている健診や相談などの機能は地域内に残してほしい。
- 第1回と第2回では意見として大きく上がってきていないが、保健福祉センター事務室が機能移転されることで、今より移動距離が遠くなり不便になる人はいるから、その対策も考えて欲しい。
- これまでは石山地区センターで様々な用事をワンストップで済ませられたが、保健福祉センターが移転されるとできなくなってしまう。

【回答】

保健福祉センター事務室を移転する案については、石山・東石山地域の公共施設に職員が出向き、検診や相談会等を実施することで、地域に機能を残していきます。

4) 周辺の区の施設を含めた施設配置について

- 出張所など中央区の住民も使っている機能は、移転後も利用できるような配慮が必要だ。石山、東石山の住民も他区の施設を使って良いのだから、周辺の区の施設も含めて施設配置を考えてはどうか。

【回答】

ご指摘のとおり通り、利用実績のある中央区のみなさんにもご意見をお聞きすることは重要であると捉えていることから、石山地区センターにて、8月にヒアリング、10月21日～27日、11月13日～19日にオープンハウスを実施しました。

本ワークショップでは、参考資料としてこのオープンハウスでいただいた意見についてもお示ししますのでご確認ください。

5) 何年先までを見据えた再配置案なのかについて

- 何年先までを見据えた再配置案になっているか知りたい。10年後になって新たな問題が発生し、また検討することになっては困る。

【回答】

本ワークショップを通じて策定される地域別実行計画では、近い将来において再編の必要がある施設を選定し、その方向性と実施時期の目安を記載いたします。

このことから、本地域において提示している再編案は向こう数年以内の実施を想定しています。

なお、人口動向や財政状況等は、今後の長期的な見通しが困難なため、継続的に施設の利用や老朽化の状況を確認していき、今回検討していない施設も含めて、今後の施設のあり方の検討が必要となった場合は、地域のみなさんに改めてご相談させていただくことはあるものと考えています。

6) 石山地区センターの建て替えについて

- 石山地区センターの場所に新しい多機能拠点をつくる案は考えられないのか。

【回答】

本ワークショップでは、多機能拠点を地区センター以外の敷地を活用する形で整備する案を複数案提示しました。

石山地区センターの現地建替えについては、北側の駐車場に建設する場合、日影の影響があることなどの条件から、移設や仮設の設置は困難であり、現在の場所で建て替えるには解体後の建設となるため、工事期間中に出張所や図書館等が長期間休館になるなど、利用者への影響が大きいと考え、現地建替えの案については提示していません。

また、石山地区センターの道路向かい側の第二駐車場については、市有地ではなく借地であるため、そこでの建替えの案についても提示していません。

なお、大規模改修の場合、工法や工程の工夫等により、休館期間を最小限にできると考え、案Ⅰで提示しています。

7) 施設の機能設備や運営等の意見について

第2回及び第3回WSにおいて、みなさんから以下の論点をいただきました。

【論点の例】

- 冷暖房の設置について
- 貸室等の予約方法（インターネット予約・対人予約）について
- 施設の運営（民間委託・職員対応・運営委員会の発足・サテライト化やデジタル化）・草木等の管理について（第2回、第3回）
- 利用率向上のための情報発信について
- 施設の稼働率向上のための取り組み（部屋の有効活用）（第2回、第3回）
- 施設名称について
- 施設のWi-Fi整備について
- アクセス手段の拡充（区バス・コミュニティバスの新施設までのルート拡張）について（第2回、第3回）
- 具体的な施設案（図書館の電子図書館化、明るく洒落た雰囲気的空間、緑地の維持、駐車券式駐車場の整備、若者が集まるテーマ性のあるスペース）について（第2回、第3回）
- 同様の機能を有する他施設の移転について（コミュニティ協議会の事務所や活動場所は移転しないで欲しい等）

【回答】

市としてもより利用しやすい公共施設のあり方を検討することが重要と捉えております。施設の運用面での工夫、改善に関するご提案・ご意見は、第5回ワークショップ（ステップ5）で、改めてみなさんから意見をお聴きし、計画を実行していくうえでの配慮事項としてまとめます。まとめた意見は、実際の施設整備の段階において検討し、施設の利便性向上に努めていきます。